

身近な水環境を調べよう！

－ 「第 18 回 身近な水環境の全国一斉調査」 参加のお願い －

全国水環境マップ実行委員会 実行委員長 小倉 紀雄

長野支部責任実行委員 沼田 清

「身近な水環境の全国一斉調査」は市民グループと国土交通省・（財）河川環境管理財団が連携し、実施しています。

本調査は、「パックテスト」という簡単な調査キット（無償で配布）を用いて、全国で一斉に調査を行い、その調査結果をわかりやすいマップとして表現することで、身近な水環境の様子が他地域と比較して良くわかります。

また、調査を 10 年 20 年と継続することで この調査を通して水環境に関する市民の理解と関心が、いっそう高まることも期待されます。子供から大人まで大勢の皆さまの参加申し込みをお待ちしています。

詳細な調査結果は、本調査専用ホームページ(<http://www.japan-mizumap.org/>)や国土交通省河川局のホームページで公表されています。

調査日時 2021 年 6 月 6 日（日）※世界環境デー（環境の日）に近い日曜日

測定項目 気温、水温、COD、その他（任意）

測定方法 取扱説明書に基づき、調査キットにて測定

（調査キットは参加申込者に毎年 5 月頃事前に配布予定）

参加ご希望の方は 上記ホームページから参加申込用紙をダウンロードの上

2021 年 3 月 10 日までに E-mail または FAX で申し込みができます。

全国一斉調査 お申し込み先

FAX : 042-327-3169 E-mail : mizutomidoriken@ybb.ne.jp

なお、ご不明の点は下記の信州水環境マップ・ネットワーク事務局宛てにご一報ください。また、ご記入いただいた個人情報は今回の調査に関する連絡以外に、ご本人の許可なく使用いたしません。

信州水環境マップ・ネットワーク事務局 沼田 清

〒389-0206 長野県北佐久郡御代田町御代田 2538-11

電話 0267-32-8608 携帯 090-9801-6671 E-mail : ecolabo@f4.dion.ne.jp

Web : <http://shinsyu-mizumap.midorinooka.net/> この中の長野県水環境マップ

web マップ版を開いて過去数年分の変化を比較しつつご覧ください。

2020 年 第17回身近な水環境の全国一斉調査	
長野県版マップ 調査地点 183ポイント	
番号	調査グループ名
1	NPO法人 みどりの市民
2	エコラボ クラブ
3	グリーンヒル友の会
4	たがわ水辺を守る会
5	テスコ(株)トーヨークリエイト(株)共同企業体
6	ボランティア団体「せせらぎねばねっと」
7	リサイクルシステム研究会
8	下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会
9	㈱積水化成部品 飯田工場 SKG
10	軽井沢水楽会
11	軽井沢町立中部小学校年5年生チーム
12	軽井沢町立中部小学校年6年生チーム
13	戸隠地質化石博物館
14	佐久平イオンチアーズクラブ
15	小諸ミズオオバコ保全会議
16	信州大学環境学生委員会
17	諏訪湖クラブ
18	千曲川水生昆虫研究会
19	長野市水環境研究サークル
20	天竜川総合学習館かわらんべ
21	湯川 水の会
22	飯水自然調査研究委員会
23	他に個人参加は2名

【2020年度全国一斉水質調査講評】

2020 年度全国一斉水質調査に参加された 22 グループと個人参加の皆様、コロナ禍の大変な時期にもかかわらずご協力いただき有難うございました。各地で小学生の参加ができなかったのは残念ですが、それにもかかわらず参加団体数は変わらず、調査地点も 183 地点（昨年は 245 地点）と、昨年の約 75%の地点で観測をいただきました。昨年までと同様に、その結果を地図にまとめました。コロナ騒動の中での観測という状況も加味してご覧ください。

今年も長野県下で測定された 183 地点中の 77%が水質良好でした。これは昨年の測定結果（75%）とほぼ同じです。天候の差、調査地点数に差があること、コロナ禍という異常事態など、例年にはない事情を考えれば単純に比較はできませんが、河川水質にまで影響する事態とはなっていなかったということでしょう。しかし、水質要注意の赤いマークが今年度も依然として長野市周辺に集中しているのは気になります。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により生活での水利用にも変化があり、地域ごとの気象条件の差もありますが、長野市をはじめとして、赤マークの近くに住まわれている人たちのなお一層の努力を期待するところです。

社会全体が高齢化しつつある時代ではありますが、調査の継続性を考えると、長野県内でも若い世代の方々の積極的な参加が期待されます。、そして、矢作川グループなど、県外の方々の協力を得ながら、長野県の水環境をさらに良好に維持していくために、それぞれの日常生活での水に対する気配りをお願いします。

今年の観測は新型コロナウイルスの影響で全国的に参加者数、観測数、そして観測日の統一に影響がありました。しかし、どのような変化があっても、長い目で見れば観測を継続することが大切です。今年の観測結果も後になってみれば社会と水質の関係を知る上で貴重な資料の一つとなるはずです。（沖野外輝夫記）